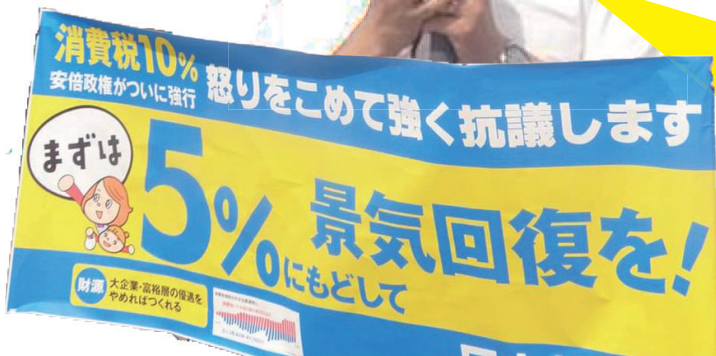


大平 喜信

おお ひら

消費税は廃止めざし
まずは5%へ戻せ!
大増税強行は
許せない!



安倍政権による 増税強行に抗議

10月1日
日本共産党が
各地で宣伝

安倍自公政権は1日、国民の強い反対と危惧の声を無視し消費税を8%から10%へ引き上げる増税を強行しました。日本共産党は、各地で抗議宣伝。「消費税は廃止をめざし、まずは5%に戻せ」と訴えました。

日本共産党の大平喜信前衆議院議員は、広島市内で街頭宣伝。共産党がこのほど発表した「消費税の減税・廃止を求める呼びかけ」を紹介し、「これまでの消費税は、社会保障でなく、大企業減税に使われてきました。消費増税は、社会保障の充実も財政再建にもなり



「消費税の減税・廃止を求める呼びかけ」(PDF)

おおひら・よしのぶ 【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期(文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員)、議席奪還を期す。現在、党准中央委員。府中町在住。家族は妻と一男。



仁比聡平前参院議員も参加した山口県民集会

ミサイル基地いらん、 山口県民集会、呉集会に参加

中国地方での軍事強化がすすむなか、大平前議員は、6日呉市でおこなわれた「ヘリ護衛艦『かが』の空母化反対集会」に参加。12日には、山口県阿武町で開かれた「ミサイル基地はいらない県民集会」に参加しました。



山口県民集会には、仁比聡平前参院議員も参加し、地域を壊し、巨額の税金をつぎ込むイージスアショアの配備撤回の運動をさらに広げていこうと決意を新たにしました。



1万人の青年と対話めざす

日本の現在と将来をいっしょに考えよう

広島県委員会が次期総選挙に向けて、若い世代の願いや声を集めているプロジェクト「1万人青年対話大作戦」に、大平前議員は積極的に参加し、アンケートやシール投票を使って学生、青年と対



3日は韓国の建国記念日にあたる一開天節(かいてんせつ)。大平前議員は、駐広島韓国総領事館主催の記念レセプションに参加し、あいさつ。金宣杓総領事はじめ、参加者と交流を深めました。

話しています。

「バイト代でほとんど生活費を出してる」という学生や「選挙で変わるとは思わんから選挙に行かん」という高校生などとも出会い、暮らし・ジェンダー・平和のことなどで会話が弾みました。



青年アンケート (PDF)